

〈解答〉

① 1 I 明確で単純である      II 多岐にわたる      III 才

2 A 永遠に続く

B 【例】 人間自身が環境を変化させることで、人間の生存に適した環境をのちの世に残していく(40字)

配点 各2点 10点満点

〈解説〉

①

1 公害問題は、毒性物質が健康被害をもたらし、動物や植物の絶滅の問題には、人間の商取引が関係しているなど、どちらの問題も、原因と問題の関係が「明確で単純である」という共通点がある。それに対し、地球の温暖化や気候変動などは、問題にかかわる要素が「多岐にわたる」ために、単純な因果関係の理解による原因の排除では解決できず、より広い視点での環境問題のとらえ方が必要だと筆者は述べているため、Ⅲには才を入れるのが適当である。

2 筆者が「持続可能性の考えの根幹」を揺るがす理由として、第四段落では、現在の間が生きている地球生態系は「永遠に続く」わけではなく、「人間自身が環境を変化させることで、生存に適した環境をのちの世に残していく」ことができなくなる可能性がある」と述べられている。